

2024. ヤマナラシから得たタマムシ科3種の記録.
すずむし, (159): 7-8.

鳥取県, 2022. レッドデータブックとっとり第3
版 2022, ([https://www.pref.tottori.lg.jp/
secure/1308351/5insects087-171-press2.pdf](https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1308351/5insects087-171-press2.pdf)).

中峰 空, 2011. 兵庫県三田市でヤノコモンタマムシを
採集. きべりはむし, 33(2): 24.

那須 敏・古村俊治, 1994. 岡山県で発見されたヤノコ
モンタマムシ. 月刊むし, (281): 2-4.

福富宏和・山田 航・瑤寺 裕・尾園 暁, 2022. 森の宝石。
タマムシハンドブック. 112pp. 文一総合出版, 東京.

森 博, 1979. ヤノコモンタマムシ発見の経緯. きべり
はむし, 7(2): 31-32.

水野弘造・高橋 敏・大平廣士, 1994. 京都府産タマム
シ科甲虫目録. 関西甲虫談話会資料, (8): 1-12.

(Daisuke SATOMI 兵庫県立人と自然の博物館)

兵庫県におけるセスジユミアシゴミムシダマシの記録

森 正人・大生唯統

セスジユミアシゴミムシダマシ *Promethis striatipennis*
(Lewis, 1894) は, 日本では本州, 九州に分布する(秋田
勝己・益本仁雄, 2016) が, 全国的に比較的希な種類
と思われる。近畿地方の記録としては, 兵庫県(高橋
寿郎, 1993) 及び京都府(秋田・益本, 2016; 京都府,
2015) の情報しか確認できなかった。近畿地方以外の
地域でも, 本種に関わる記録や情報は大変乏しい状況
にある。

兵庫県内の記録は, 高橋寿郎(1993) による三原郡南
淡町煙島の記録(1ex, 6-VII-1981, T.Takeda Leg) が唯
一である。この引用文献として示された登日(1982)
の内容や標本は確認できていないが, おそらく南淡町教
育委員会(1982)「煙島の自然」のなかに書かれた情報
と思われる。

筆者らは以下の通り兵庫県内で本種を採集してい
るので報告する。

1 ♂, 朝来市和田山町室尾, 6-IX-2021, 大生採集(写真1)

1 ♂, 養父市奈良尾, 14-VI-2024, 森採集(写真2)

朝来市の記録は, 夜間にネムノキの立ち枯れにいた
個体を採集したもの, 一方, 養父市の記録はケヤマハン
ノキ立ち枯れの樹皮下に潜んでいる個体を日中採集した
ものである。

なお, 兵庫県北部に隣接する鳥取県の東部地域では,
丘陵地から平野部にかけての照葉樹林に遷移しつつある



写真1 セスジユミアシゴミムシダ
マシ♂(朝来市産)。



写真2 同♂(養父市産)。

二次林で比較的普通に確認されており, ナラ枯れで枯死
した後, ハカワラタケがびっしりと生えたコナラの立ち
枯れ上で夜間に確認できるほか, 灯火にも飛来する(大
生, 2024, 投稿中)。本種の採集状況から, 主に日本海
側の照葉樹林を中心に分布していたものが, ナラ枯れの
拡大に伴い, これまで確認できなかった地域へ分布を拡
大しているものと考えられる。

○引用文献

秋田勝己・益本仁雄, 2016. 日本産ゴミムシダマシ大
図鑑. むし社: 302pp.

京都府, 2015. 京都府自然環境目録 2015. [https://
www.pref.kyoto.jp/kankyō/mokuroku/index.html](https://www.pref.kyoto.jp/kankyō/mokuroku/index.html)
(20240820 (参照))

大生唯統, 2024. 鳥取県におけるセスジユミアシゴミ
ムシダマシの初記録と若干の生態知見について. ゆ
らぎあ, 42, (投稿中)。

高橋寿郎, 1993. 兵庫県のゴミムシダマシ(6).
Crude(38): 22-33.

(Masato MORI 環境科学大阪 株式会社)

(Yuito OHBAE 鳥取県鳥取市)